

新年をむかえて



年頭にあたり

瀬戸町長
阿部 茂久

新年あけましておめでどうございませう。
輝かしい平成二年の年頭にあたり、謹んで新春のご祝詞を申し上げます。
皆様には、平素から町行政伸展のため、格別のご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
おかげをもらしまして、町行政は順調に進展をみせつつあり、これも偏に皆様のご協力の賜と深く感謝いたしますところでありませう。

昨年は、激動の年といわれ、六十三年に及ぶ昭和の時代が幕を閉じ、新たな平成の時代に移り変わった年でありませう。国の経済的繁栄は、昭和時代から平成時代に引き継がれ、わが国は、世界でも経済大国となつているところであります。

町におきましては、生きがいのある町づくりの拠点として町民センターや、農業活性化センター、野球場、展望所等の施設が完成し、又、本年度末には、川之浜の海浜公園、三机の公営住宅が完成、つづいて、堀切の農業活性化センター周辺整備、須賀公園整備等が順次整備されておられ、観光、文化の基礎が出来た年であつたと思ひます。

新年は、一段と厳しさを増す社会経済情勢であります。昨年完成した施設を町づくりに活用するためには、皆様の知恵と力を必要とあります。

町におきましては新たな決意のもとに、町が一丸となつて連帯を持ち、『活力とうるおいに満ちたまち瀬戸』づくりを目指し、来たるべき二十一世紀に備えなければならぬと考へておられます。

今後とも、活力ある町づくりに向け、基幹産業であります農業、漁業の基盤整備はもとより、人材育成、生活環境整備、観光産業の促進、高齢者の生きがい対策など、魅力ある町づくりのため、ご自身の努力を傾注する所存であります。皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後にになりましたが、本年も町民皆様にとつて健康で、御多幸な最良の年でありますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

1月号

広報

1990



と

No. 201

平成2年1月8日発行
発行所 瀬戸町役場
☎0894(代)52-0111
〒796-05 愛媛県瀬戸町三机
編集企画課



迎

わが郷土の輝かしい



年頭のごあいさつ

瀬戸町議会議長

梶原 磯雄

あけましておめでとございます。

平成二年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

町民の皆様には、平素から町政に対して暖かい御理解と絶大なる御支援を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は瀬戸町におきましては、皆様待望の野球場、町民センター等のオープン又、第三セクターによるレストラン風車、活性化センター等、数々の施設がオープンされ活力ある町づくりに一段の躍進を期した年であったのではないかと御慶び申し上げます。

特にわが町は、高齢化、過疎化の激しい中で、活性化に対応すべきリゾート開発、又ふるさと創生事業等、幾多の課題が山積いたしておる訳でございます。

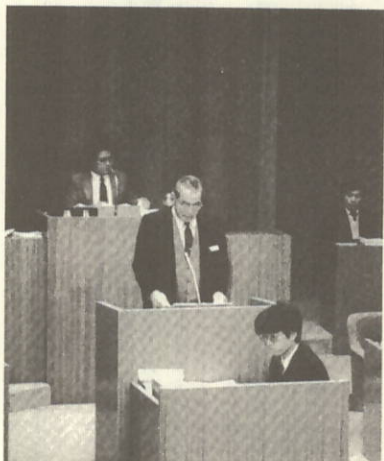
新年は一層社会情勢は厳しさを増すとは思いますが、きたるべき二十一世紀に望み、活力ある町づくりを町民一体となって努力しなければならぬと思っております。

何とぞ今後一層のご支援御協力を賜りますようお願い申し上げますと共に御家族皆様方の御繁栄と御健康を心から祈念いたしまして新年のごあいさついたします。

12月定例議会

住みよい町づくりにと

道路新設改良費など 4832万円
一般会計補正累計 30億8195万4千円



議会の様子

※一般会計補正 予算の主な事業

去る十二月二十六日、第二百十一回、十二月定例町議会が開かれ、平成元年度補正予算案など二十一議案が上程されました。

審議の結果、いずれも原案どおり可決されました。

道路新設改良費など一般会計補正予算は、四千八百三十二万円を計上、累計では三十億八千九百九十五万四千円となっています。

- 道路新設改良費
 - 町道瀬戸頂上線
 - 町道川之浜小島線
 - 町道神崎国道線
- 松の浜下水排水路整備事業
- 三机港改修事業
- 町単農地復旧事業
- 保健衛生費

◆その他

●瀬戸町職員の給与に関する

る条例の一部を改正する条例について

●人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じた給与改定で、平均すると率で三、一％、額で七千五百円のアップとなりました。

●人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じた給与改定で、通勤手当で交通機関が「自転車等」を「自動車等」に改正されました。

●議会の議員の報酬及び期末手当並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について

← 期末手当が、議員は報酬月額額の150/100にアップしました。

← 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

← 期末手当が町長、助役、収入役、教育長は給与月額額の150/100にアップしました。

【特別会計の 補正状況】

○国民健康保険事業
補正額
四十六万五千元
累計
三億五千二百三十三千円

○簡易水道事業
補正額
百六十一万二千元
累計
二億八千九百六十九万七千円

○住宅新築資金等貸付事業
補正額
百四十三万八千円
累計
六百五十四万五千円

一般質問

阿部道忠議員

(消防組織について)

*新春の出初式の日程を変更する考えはないか。それ



力強い行進

ホットなニュース

初春を色どる恒例の瀬戸町消防団出初式が一月七日(日)、三机小・中学校グラウンドにおいて、消防団員ら関係者約三百人が参加して開催された。

式典は午前九時から始まり、服装、機械器具の点検選抜分団による規律訓練などが行われました。続いて優秀団員や無火災分団の表彰、それに来賓多数の激励を受けました。この日表彰された方は次のとおりです。(敬称略)

消防団出初式

精勤彰

小早川吉郎

功労彰 大内幸重

功績彰 若松謙一

勤続彰(15年以上) 菊池良雄

勤続彰(10年以上) 阿部泰幸

勤続彰(10年以上) 阿部道忠

河野卓二

石崎和彦

堀江昌司

伊藤数正

下野保久

山木喜久男

小松秀夫

小松重明

親子消防団員表彰

八西消防団連合会長表彰

村上千也

宝栄正五

山本幸二

菊岡喜一郎

木嶋英幸

米田慎一郎

是沢幾久

上村友末

濱本初雄

無火災分団表彰

第三分団昭和60年1月1日か

から5年1ヶ月間無火災

瀬戸町長表彰

松谷茂孝

佐々木学

前田文字

建設工事入札結果発表

工事名	工事数量	指名業者名	落札業者名	落札金額	工期
元年英園補第526号町道三机上倉線道路災害復旧工事	L=23.5m W=3.7m~3.8m 山留ブロック積 7.3m ²	山本建設㈱・三和建设㈱ 南清水建設・藤川建設㈱	山本建設㈱	2,369,000	60日
元年英園補第527号町道三机上倉線道路災害復旧工事	L=8.5m W=5.0m~5.1m 路側ブロック積 4.2m ²	山本建設㈱・南清水建設 末光建設㈱・藤川建設㈱	山本建設㈱	1,854,000	60日
元年英園補第528号町道大久ヒラへ線道路災害復旧工事	L=16.0m W=3.4m~3.5m 路側ブロック積 68m ²	藤川建設㈱・松井建設㈱ ヤマキ建設㈱・阿部建築	松井建設㈱	3,090,000	60日
元年英園補第529号町道大久ヒラへ線道路災害復旧工事	L=6.5m W=3.5m 路側ブロック積 22m ²	藤川建設㈱・南水井工業 松井建設㈱・阿部建築	松井建設㈱	1,081,500	60日

と、団本部の部長選出は、どのような選出方法をとっているのか、又任期期間はあるのか。

【町長】
出初式は旧来正月明けの一月七日が帰郷者等の関係から団員が集り易いと言う事で実施してきた。消防団の方で変更した方が良く、言う事であれば考えてみたい。団本部の部長選出は、本団で適任と思われる団員を選出し、所属分団と相談の上選任している。任期は恒例として二年間となっている。

清水米満議員
【学校統合について】
*統合委員会の活動状況並びに統合計画は、どのようになっているのか。又第二次統合計画の進捗状況はどのようにになっているのか。

【教育長】
63年9月に代表委員会を開催し、協議いたしました。が、具体化するまでに至らず、その後開会しておりません。

中学校2校を含め、3校もの危険校舎をかえ、後5年すると中学生が百人

を割る現状の中で統合問題の解決と教育環境の整備充実につとめたいが当期目標の平成2年度統合については繰り下げる必要があり現在内部で検討中である。

【ふるさと創生基金について】
*各地区で、ふるさと創生会議が行政指導で行なわれていると思うが、この会議の主目的並びに会議結果に対し、ふるさと創生基金の使用を考えておられるか。又、町当局として創生基金の使途についてどのような考えをおられるか。

【町長】
町民の生活の本拠地である各地区の中で、幅広い住民の参加を得て「自ら考え、自ら行う」集落づくりに取り組んでいただきたいとお願いしている。

地区の協議の結果に対してはどのようなものが出て来るのか現時点では予想し難く、具体的な事例が出た段階で検討したい。

又ふるさと創生基金の使途については、町民からの提案もあり議会とも相談しながら結論を出したい。

29億円が町づくり

昭和63年度一般会計決算報告

歳入決算額 30億5463万9476円
歳出決算額 29億8644万9834円
差引決算額 6818万9642円

【入ったお金】



【使ったお金】

土木費	公債費	農林水産業費	教育費	
301,484,837 (10.1%)	375,235,421 (12.5%)	625,670,994 (20.9%)	677,026,097 (22.7%)	
衛生費	災害復旧費	民生費	総務費	
109,533,149 (3.7%)	113,127,359 (3.8%)	262,392,868 (8.8%)	287,278,213 (9.6%)	
労働費	諸支出金	議会費	消費費	商工費
12,986,700 (0.4%)	23,107,865 (0.8%)	55,784,680 (1.9%)	61,455,177 (2.1%)	81,366,474 (2.7%)

昭和63年度 会計別決算状況

単位：円

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	3,054,639,476	2,986,449,834	68,189,642
国保会計(事業勘定)	333,487,502	312,858,572	20,628,930
国保会計(直診勘定)	39,476,411	140,485,627	△101,009,216
簡易水道会計	167,511,016	167,511,016	0
港湾整備会計	6,683,529	6,683,529	0
土地取得会計	49,311,844	49,311,844	0
住宅新築資金等貸付会計	6,143,332	5,694,996	448,336
学校給食会計	14,496,287	14,347,247	149,040
老人保健会計	289,865,681	282,361,274	7,504,407